

2024
June

6

図書館だより

第191号 発行:2024年6月 発行元:高山市図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

高山あっちこっち



高山ゆかりの人物や場所などを取り上げ、歴史や逸話、資料などを紹介します。

No.69 飛騨の林業と杣が池(そまがいけ)伝説

皆さんは杣(そま)という職業をご存知でしょうか。杣とはきこりのことで、森林が土地のほとんどを占める飛騨においては、非常に重要な仕事でした。今回はそんな杣の仕事や伝説についてご紹介します。

杣の暮らし

古くは室町時代に都へ飛騨の木材が献上されたという記録がありますが、飛騨の林業が整備されていったのは江戸時代からです。高山藩時代、杣たちは山方や高山の杣頭を通じて賃金・米・塩・みそを前借りし、切り出した木材を藩に買い取ってもらって返済するという形で生活をしていました。

杣が使った
大鋸(おおが)

杣は通常10人～30人程度を1組として、総勢100～300人で切り出しを行います。山に入ると、まず杣小屋を建てます。小屋は長方形で、中央に通り土間とイロリがあり、その両側に1人につきムシロ1枚分のスペースを与えられました。小屋を建て終え、山の神様を祀る儀式をすると、杣たちは抽選で持ち場を割り当てられます。木を切るには特殊な技術が必要で、木が倒れる方向を見定めて、斧で切れ目を入れます。幹の太さ半分まで切れ目を入れたら、反対側を大鋸(おおが)で引いて切り倒します。倒れた木は枝を落として皮をむき、木の種類や長さ・太さ、自分が切った証拠となる印を鉋で刻みました。それを別の杣が角材や板の形に仕上げ、木を川に流して運ぶ日傭(ひよ)によって、谷川へと集められます。木材は川を下り、尾張の白鳥湊(しろとりみなと)や伊勢の桑名湊(くわなみなと)で問屋や材木商に卸されました。

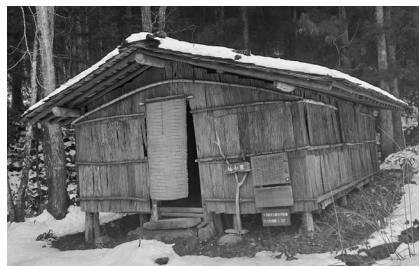
杣が池の伝説

高根村の日和田地区にある杣が池には、こんな伝説が伝わっています。

かつてこの辺りの豪家に「おちん(ちんま)」という名の女中がいました。働き者で優しく美しいおちんには方々から縁談が来ましたが彼女は全て断り、杣の小三郎からの求婚だけは喜んで受け入れました。

ある日友人と仕事で山に入った小三郎は、谷川に大きな岩魚が泳いでいるのを見つけます。岩魚を捕まえ食べた途端、たえられないほどの喉の渇きを覚えました。たまらず谷川に直接口をつけて水を飲むうちに、小三郎の体は巨大な蛇の姿へと変わり、尾の先で池を掘り始めました。驚いた友人はあわてて村へ戻り小三郎の母に事の次第を伝えましたが、おちんの姿はありませんでした。母が池のほとりまで行き小三郎を呼ぶと、小三郎があらわれ「おちんに見込まれて池の主になった。どうかあきらめてくれ」と言い池の中に飛び込みました。その後、小三郎の掘った池は大きくなり、その奥に昔からあった池は涸れてゆきました。

人々は、おちんの正体は奥の池に住む蛇で、夫婦ともども池の主になったのだろーと言いました。それから、小三郎が掘った池を「杣が池」、涸れた池を「ちんまが池」と呼ぶようになったそうです。



飛騨の里にある 杣小屋

参考資料

『高山市史 上巻』高山市／編集 高山印刷 1981年 215.3タ1
『近世飛騨林業の展開 生業・資源・環境の視点から』
高橋 伸拓／著 岩田書院 2011年 652.1タ
『高山市史 幕府直轄地時代編 上』高山市教育委員会／編集
高山市教育委員会 2018年 215.3タ1

『杣と木地屋 木に生きる山人のくらし』山村民俗の会／編
エンタプライズ 1989年 L384.3ノ
『宮村史』岩井 正尾／編纂 宮村教育委員会 1968年 215.3ミ
『ひだびと 第6巻』飛騨考古土俗学会／編 歴史図書社
1979年 382.1ヒ6
『飛騨の伝説』小島 千代蔵／著 小島 千代蔵 1968年 388.1コ



日程や内容は変更される場合があります。
くわしい内容は館内設置のチラシやポスター、図書館ホームページ、各種SNSなどでお知らせしておりますのでそちらをごらんください。

煥章館（本館）のイベント

第3回 上映会

上映作品:『グリーンブック』

(2018年 アメリカ 130分)

ピーター・ファレリー／監督・製作・共同脚本
ヴィゴ・モーテンセン、マハーシャラ・アリ ほか／出演

【日時】6月15日(土) 午後2時～上映終了まで
※日本語字幕上映

【場所】煥章館1階 生涯学習ホール

【受付方法】直接来館、電話

【定員】60名 ※参加無料

【受付期間】受付中 ※定員に達し次第終了

新聞切り抜き作品教室

小中学生対象の新聞切り抜き作品の
作り方教室です。



【日時】6月16日(日) 午後0時30分～3時

【場所】煥章館1階 学習室

【定員】8組(親子)

※参加無料、小学生は保護者同伴

【受付方法】直接来館、電話

【受付期間】受付中 ※定員に達し次第終了

【主催】中日新聞社

※優秀作品巡回展も開催(6月4日～16日)

これからの資産形成

【テーマ】「はじめての資産形成講座 中級編
～新NISAやiDeCoについてより詳しく知ろう～」

講師:松山 尚登 氏

(岐阜県金融広報委員会
ファイナンシャルプランナー)

【日時】6月16日(日) 午後1時30分～3時

【場所】煥章館1階 生涯学習ホール

【受付方法】直接来館、電話

【定員】60名 ※参加無料

【受付期間】受付中 ※定員に達し次第終了

★託児サービスは定員に達しましたので、
受付を終了しました

みんなの健康シリーズ 第1回

「糖尿病は闘尿病」

【テーマ】「糖尿病(ダイアベティス)」

講師:小川 徹 氏(おがわクリニック 院長)

【日時】6月19日(水) 午後7時～8時

【場所】煥章館1階 生涯学習ホール

【受付方法】直接来館、電話

【定員】60名 ※参加無料

【受付期間】受付中 ※定員に達し次第終了



SNSなどで企業や個人が情報を発信することが当たり前になりましたね。
初心者だけど、プロみたいに作れたら…。そんな時のヒントになる、制作に
役立つ本を2冊ご紹介します。



『スマホ1台で動画制作 はじめます!』

JEMMA／著
インプレス
2022年
746.7ジ

動画クリエイターの著者が、動画やデザイン制作に役立つアプリを紹介し、スマホのカメラの標準機能を使ったおしゃれな演出をレクチャー。旅行や料理、ペットなど、SNSで人気の動画がスマホ1台で作れます。



『失敗しない カラーリング』

桜井 輝子／著
ソシム
2021年
757.3サ

プロではない人に向けて配色のテクニックや知識を解説。全体を見て色を決めることやイメージを色に翻訳することなど、色のセンスが良い人の頭の中を垣間見ることができます。季節の配色アイデアは、1年中使えて便利です。

new!

新着資料 案内

「食べる」を見直そう



6月18日は国連が定める「サステナブル・ガストロノミー・デー（持続可能な食文化の日）」です。食べ物を作るとき・食べるときにおける地球環境への影響を見直し、将来にわたって継続できる農業や漁業、調理法を考えるために制定されました。そこで今回は、普段食べているものや食べ方を見直し、家庭内でも実践できるサステナブルな「食」に関する本を紹介します。



『野菜づくり超入門 春夏編』

藤田 智／著
NHK出版
2024年
626.9フ



野菜づくりを始めよう！知っておきたい野菜づくりの知識や作業を紹介し、ミニトマト、ナスなど22種類の春夏野菜の育て方を写真とともに解説。チェック表がダウンロードできるパスコード、動画が見られるQRコード付き。

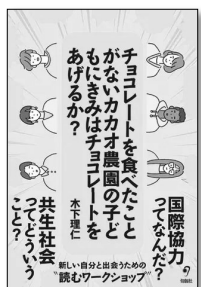


『サバの味噌煮は、 ワインがすすむ』

小泉 武夫、真藤 舞衣子／著
日経BP日本経済新聞出版
2024年
596.0コ



新ゴボウで野趣を味わい、酒粕の芳醇さに酔い、カキフライで悶絶！発酵学者・小泉武夫が自らの厨房で作り上げる季節の料理67品を取り上げた珠玉のエッセイ。レシピも収録。『日本経済新聞』連載を新書化。

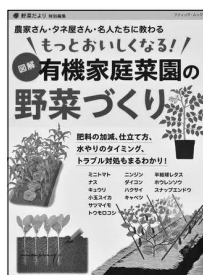


『チョコレートを食べたことがない カカオ農園の子どもにきみはチョコ レートをあげるか？』

木下 理仁／著
旬報社
2024年
333.8キ



カカオ農園の貧しい子どもにチョコレートをあげるべきか？学校に通わずに働いている少女の作った洋服を着るべきか？国際協力と多文化共生をテーマにした“読むワークショップ”。



『もっとおいしくなる！ 図解有機家庭菜園の野菜づくり』

ブティック社
2024年
626.9モ



家庭菜園で定番の人気野菜13品種を「もっとおいしく」仕上げる、無農薬、無化学肥料の栽培法を図解する。肥料の加減、仕立て方、水やりのタイミング、トラブル対処がわかる。『野菜だより』連載に加筆・再編集。

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
一生使える冷凍・冷蔵のコツ		オレンジページ	2024年	596イ
はじめてのエディブルフラワー	油井 奈々、 ゆい だいき／著	KADOKAWA	2024年	596.6ユ
忙しい人こそ「煮込み料理」を！	タサン志麻／著	文化学園文化出版局	2024年	596タ
ズボラさんの買わない、捨てない ちょこっとガーデニング&レシピ	大橋 明子／著	集英社インターナショナル	2024年	596.3オ
小さな庭やベランダで育てる ハーブと楽しみ方事典	福岡 玲子／著	朝日新聞出版	2024年	617.6フ
「豆」を食べる習慣が体を守る！	今泉 久美／著	文化学園文化出版局	2024年	596.3イ



※掲載されている表紙画像はすべて掲載許可済みです。 ※紹介文はTRC MARCより。

2024年6月 煥章館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28 休館日	29
30						

休館日について

【本の返却】 正面玄関を入れて右側の返却ポストをご利用ください。

※ただしCDやビデオ、DVDなどの視聴覚資料および相互貸借資料(高山市以外の図書館から借り受けた資料)は開館中に館内カウンターでご返却ください。

【受付できないこと】

×お電話での貸出期間延長や、本の所蔵調査
×市営空町駐車場の2時間無料処理

2024年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 ★	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31 休館日			

【左記日程に変更がある場合】ホームページ、館内チラシ・ポスターなどでお知らせします。

市営空町駐車場の駐車場特定日について

下記の日程は駐車場特定日のため、
夕方5時前に入庫した車両については、
駐車料金の2時間無料化ができません。
※夕方5時以降に入庫した車両のみ、2時間分の無料化を行います。

7月14日(日)



★…駐車場特定日(夕方5時まで有料)

…本のリサイクル



編集後記

- 巻頭の「杣が池」の伝説が面白くて読みふけてしまいました。いつか現地に行ってみたいです。
- 動画制作、一度勉強したいなと考えていたのでこの機会に挑戦してみようと思います。
- 図書館のSNSの投稿は、スタッフがデザイン・演出して作っています。ぜひチェックしてくださいね！

高山市図書館

指定管理者 株式会社図書館流通センター 〒112-8632 東京都文京区大塚3丁目1番1号 電話 03(3943)2221 FAX 03(3943)8441

貸出点数 1人につき10点まで 貸出期間 2週間 開館時間 午前9時30分～午後9時30分
休館日 月末図書整理日(土日祝にあたる時はその前日)、特別整理日、年末年始(12月31日～1月3日)

煥章館

〒506-0838
高山市馬場町2丁目115番地
電話 0577(32)3096 FAX 0577(32)3098
メール library@library.takayama.gifu.jp
駐車場 市営空町駐車場をご利用下さい。
※2時間まで無料です。駐車券を受付にお持ち下さい。
アクセス JR高山駅より徒歩15分
中心市街地バス「まちなみバス」「煥章館」下車
ホームページ
<https://www.library.takayama.gifu.jp>



図書館HPに
簡単アクセス！

分館

丹生川分館 0577(78)1111 朝日分館 0577(55)3311
清見分館 0577(68)2211 高根分館 0577(59)2211
莊川分館 05769(2)2211 国府分館 0577(72)3111
一之宮分館 0577(53)0035 上宝分館 0578(86)2111
久々野分館 0577(52)3112

X(旧Twitter) @TakayamaCityLib

Facebook TakayamaCityLib

Instagram @takayamacitylib

YouTube 高山市図書館チャンネル